

第2次伊佐市教育振興基本計画(素案)に対する意見公募の結果について

市教育委員会では、令和7年度を始期とする「第2次伊佐市教育振興基本計画」を策定するに当たり、計画(案)に対する市民の皆さまの御意見等をうかがう意見公募(パブリックコメント)を実施しました。

その結果、7通(17件)の御意見をいただきました。それらの御意見と市教育委員会の考え方は以下のとおりです。

1 結果概要

(1) 募集方法等

募集期間	令和6年11月25日(月)～令和6年12月25日(水)
意見提出方法	郵送、FAX、メール又は持参
計画(案)の公表場所	教育総務課(菱刈庁舎)、市民課(大口庁舎)、大口図書館臨時窓口と菱刈図書館、市ホームページ

(2) 意見数

提出数	7通(メール6通、持参1通)
意見数	17件

(3) 項目別の意見数

第1章 計画策定の趣旨	0件
第2章 本市教育を取り巻く環境	3件
第3章 基本目標(教育大綱)	2件
第4章 今後5年間に集中して取り組む施策	8件
第5章 計画の実現に向けて	1件
計画全般に関すること	3件

2 御意見と市の考え方

御意見は、なるべく原文のままとしておりますが、誤字や文章構成について、御意見の趣旨を損なわない程度に修正又は一部要約して掲載しています。

※ 頁は計画(案)時のもので、御意見の反映などに伴い、レイアウトを変更した最終版では、頁が前後することがあります。

【第1章 計画策定の趣旨】

御意見なし

【第2章 本市教育を取り巻く環境】

No.	頁	該当箇所 (項目等)	御意見	市教育委員会の考え方
1	8	3 伊佐市の教育の現状 (1) 児童生徒数・学校規模	人口減少と併せて、児童生徒の減少も避けられない中、各校が少子化に伴う教育課題に対し、それぞれ創意工夫を重ね、近年の業務改善と並行して特色ある教育活動を展開していると考えます。	小規模校のよさを生かした特色ある教育活動と特認校制度等の基盤整備を推進していきます。 (P48)
2	12	3 伊佐市の教育の現状 (6) 特別支援教育	鹿児島県の統計資料等を参考にしても伊佐は何故、こんなに支援学級や特別支援学校で学ぶ児童生徒が多いのでしょうか。 要因を分析し、そこを手当していく必要があると考えます。	御意見を踏まえながら、法令や通知等を基に、関係機関や学校と連携を図り、適切な学びの場の決定に努めていきます。
3	16	3 伊佐市の教育の現状 (10) 安全・安心な教育環境の整備	通学路合同点検において共有できた危険箇所について、関係機関と連携をとりながら整備が進んでいることに感謝します。	安全安心な学校環境の確保と適切な維持管理に努め、計画的な整備を推進していきます。 (P63)

【第3章 基本目標(教育大綱)】

No.	頁	該当箇所 (項目等)	御意見	市教育委員会の考え方
4	22	1 伊佐市教育の目標	「伊佐のふるさと教育」の推進を一層図っていくためにも、地域に学べる人との繋がり、地域素材との繋がりを、より大切にしていかなければならないと考えます。	「伊佐ふるさと検定」や「黄金の俳句コンクール」等、伊佐らしい特色ある施策事業を実施するとともに、地域素材を生かした授業に取り組むなど、ふるさと教育の具現化を図っていきます。 (P60)
5	22	1 伊佐市教育の目標	市の教育文化を背景に育った学生たちが、他の地域で学び得た素養を基に、伊佐への貢献意識を持ってもらいたいという願いがあります。 帰ってきた人へ、地域一体となった労いあるサポートで活力を与え、その人の持ち帰った知識や情報を地域の刺激策に繋げてほしい。	地域と学び、未来を創る人づくりや伊佐らしい活力ある教育、文化の創造を目指し、「伊佐のふるさと教育」を推進します。 (P22～P25)

【第4章 今後5年間に集中して取り組む施策】

No.	頁	該当箇所 (項目等)	御意見	市教育委員会の考え方
6	27	1 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進	強い帰属及び貢献意識というものは、目で見ただけからくる記憶や実体験から来るものと感じるので、「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ」に尽きると思います。	伊佐で育つ子どもには、世界中どこでも活躍できる素地を培うとともに、ふるさとの発展に寄与する資質・能力を身に付けさせ、たくましく生きる力と感性豊かな心を育成する教育を目指します。(P27)
7	29	1 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進 (3) 青少年活動と体験活動の充実にある	【現状と課題】を踏まえ、具体的な取組が必要と思う。	子ども会活動の支援や家庭の教育力向上、市民総ぐるみの「あいさつ運動」など、校区コミュニティや学校等関係機関と連携し、地域の特色を生かした青少年育成事業を推進していきます。(P30)
8	38	2 未来の創り手となる資質・能力の伸長と確かな学力の育成 (2) 特別支援教育の推進	【これからの施策の方向性】①の中で、「正しい理解と認識を図るとともに…」とありますが、正しい認識と理解があれば、誤った言動や全国平均を上回るほどの障害があると診断される児童生徒はいないのではないのでしょうか。	各種研修会や相談・支援体制のさらなる充実に努めながら、「(2)特別支援教育の推進」の「主な取組」を進めていきます。(P39)
9	48	3 信頼され、地域とともにある学校づくりの推進 (3) へき地・小規模校教育の充実	小規模特認校に通う特認生のために、送迎バスの運行を検討してほしい。	小規模特認校へ入学又は転入学する対象者の条件として、原則、自力通学できることとしています。 また、特認生には通学支援の助成金も支給していますので、送迎バスの運行は考えていないところです。
10	48	3 信頼され、地域とともにある学校づくりの推進 (3) へき地・小規模校教育の充実	小規模校が特認校制度を活用し児童数増対策に取り組むのはよいが、利用可能な児童の対象を「小規模校からの児童を除く」などの規約づくりの整備もお願いしたい。	現状を踏まえ、今後、特認校制度について、検討していきます。
11	49	3 信頼され、地域とともにある学校づくりの推進 (4) 望ましい学校の在り方の検討	子どもたちの学習環境や学び合う環境設定を考えれば、今後の学校の在り方を検討することは必要だと思う。ただ、小学校は地域との繋がりが深く、地域の核となり、地域と連携した教育活動が推進されており、地域の中で豊かな心も育まれているので、学校、地域、保護者の意見も聞きながら、多様な視点で検討していくことが必要かと思う。	まずは、本市の現状を市民に認識していただき、その後、アンケートの実施や検討委員会の設置等、丁寧に検討していきます。

【第4章 今後5年間に集中して取り組む施策】

No.	頁	該当箇所 (項目等)	御意見	市教育委員会の考え方
12	55	5 生涯学習環境の充実とスポーツ・文化の振興 (1) 生涯学習環境の充実	教育を学生だけのものとするのではなく、若い子からお年寄りまでの地域一丸となった「学ぶ集団、伊佐」として、都会と遜色なく情報が入ってくる地域、それを活かせる地域ということで、都会に住むより伊佐の方が住みやすいということになれば、他の地域での学びも就労経験も、伊佐に持ち帰り、どう活かそうかという視点ができあがるのでは。	市民一人一人が自己の能力を高め、豊かで生きがいのある人生を送ることができるように、性別や世代を問わず積極的に参加できるような、より有用な質の高い学習の提供、文化芸術鑑賞の機会などの充実を図ります。(P55)
13	55	5 生涯学習環境の充実とスポーツ・文化の振興 (1) 生涯学習環境の充実	学ぶことは、高齢者にとっては認知症対策として有効であるし、障がい者にとっても「学ぶ」を忘れることなく日課にすることで、それらを見る子どもたちの学習欲が刺激され、地域を背負って立とうという気概が醸成されるのでは。	生涯学び、活躍できる環境を整備するとともに、障害の有無にかかわらず共に学び、生きる共生社会の実現に向け、各種講座の充実、積極的に社会参画できるような学習活動の支援を行います。(P56)

【第5章 計画の実現に向けて】

No.	頁	該当箇所 (項目等)	御意見	市教育委員会の考え方
14	67	3 計画の進行管理	計画期間中に対応すべき新たな課題が発生したときは、組織を立ち上げ伊佐の療育や支援教育の在り方を見直していただきますようお願いいたします。	市教育委員会では、取組結果について、外部評価委員会を毎年開催し、点検・評価を行っています。 計画期間の途中においても必要に応じて見直しを行います。(P67)

【計画全般に関すること】

No.	頁	該当箇所 (項目等)	御意見	市教育委員会の考え方
15	-	-	よいと思う。全面的に支持する。	「伊佐のふるさと教育」の推進を基本目標に、計画を着実に進めるよう努めてまいります。(P22)
16	-	-	全体として、これまでも今回の計画においても、子ども一人一人のよさを大事にし、伸ばしていこうとする計画であると思う。 デジタル化やグローバル化が進めば進むほど、人や地域と関わる力、郷土を知るといったことが大事になっていくのではないかと考える。 そのバランスも考えられた計画であると思う。	「地域の子どもは地域ぐるみで育てる」という気風の確立に努めながら、自らの人生を切り開いていくことができる人づくり、社会に役立つ人づくりのために、伊佐らしい活力ある教育の推進に取り組みます。(P22)
17	-	-	今後の伊佐を背負って立っていきべき学生にとって素晴らしい素案でした。我々市民の代弁として、今後10年間の基本姿勢について書かれており、嬉しく思いましたし、期待と希望を持てる内容でした。	7つの基本方針に沿って、市民の期待に応えられる教育行政を展開していきます。(P22)